

「活気とうるおいのある豊かなまち」を創るには、地域の産業が充実していることが重要です。八重瀬町は、特に農業が盛んで、基幹作物である、さとうきびを中心に、ピーマン・オクラ・小菊・マンゴー・紅芋等、彩り鮮やかな作物が数多く生産されています。また、養豚・酪農・肉用牛などの畜産業や水産業も行われています。

今後は、農業、水産業、商工業の振興を図るとともに、農工商や観光産業などとの連携を強化し、都市近郊に位置する本町の優位性を活かした体験・滞在・交流型観光の構築や、本町オリジナルの特産品の創出など、各産業の活性化に努め、「魅力と活力あるまちづくり」を推進します。



農業の振興

農業を将来にわたって本町の基幹産業と位置づけ、農業生産基盤の整備や農業用水の確保などさらに対策を強化します。また、農産物の品質向上や流通体制を強化し、地域ブランド化を推進します。



水産業の振興

海域特性を活かした多様な漁業活動の育成とともに、生産基盤の整備や担い手の確保・育成など水産業の活性化を推進します。また、消費者に直結した地産池消を推進します。

観光レクリエーションの振興

南部地域の主要観光ルートの通過地点という立地特性を活かして、観光資源の線的、面的なネットワーク化を推進するとともに、農業や漁業などの生産分野や地域の歴史・文化資源を活用した多様な体験・滞在・交流型観光の育成を図ります。



産業

産業の振興による
魅力と活力あるまちづくり

商工業の振興

商業については、農業や漁業など他産業と連携した特産品の開発などを支援します。また、工業は、他産業と連携した地場産品の開発による新たな起業を推進します。

雇用対策の強化

企業の誘致や、雇用情報の提供など雇用対策の強化を図ります。また、体験・滞在・交流型観光や地場産品を活用した商品の開発など、起業化に向けた支援を促進し、町内における働く場の拡充を図ります。

5

まちを繋ぐ
まちをつくる
つの目標

「大地の活力とうまんちゆの魂が創り出す自然共生の清らまち」の実現のために5つの基本目標を定め、町民、議会、行政が一体となったまちづくりを進めていきます。

